

平成 29 年度静岡市協働パイロット事業審査委員会 審査結果講評

平成 29 年 6 月 16 日

今年度の協働パイロット事業では、13 件の協働事業が提案されました。各企画提案について、書類審査（一次審査）を実施し、これを通過した 9 件の企画提案を対象に面接審査を実施しました。

審査においては、次の 6 つの評価点に基づいて評価・採点を行いました。

- (1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか
- (2) 協働にふさわしい事業か
- (3) NPO の先駆性・創造性を活かした事業か
- (4) 実行性が十分に感じられるか
- (5) 予算の見積りは適正か
- (6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か

協働パイロット事業は試行的な協働事業ですが、これを契機に本格的な協働事業への発展や、継続的な事業実施へのステップアップを目指すものであるため、「(1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか」、「(2) 協働にふさわしい事業か」及び「(6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」については、特に重点を置いて評価をしました。

面接審査の結果、以下の 5 件の企画提案を平成 29 年度静岡市協働パイロット事業の候補として選考しました。

1 『静岡市を日本一災害に強い福祉施設のあるまちに』

しずおか福祉 B C M 研究会

2 『住民が自らの暮らしを良くする『小規模多機能自治』の普及推進事業』

里山暮らし L A B O

3 『定時制高校生のための生き抜く力を育む事業』

特定非営利活動法人しずおか共育ネット

4 『子育てママが中山間地に安心して移住できる「藁科のくらしかた」製作』

奥わらママ

5 『コミュニティ・カフェ等による空家の交流拠点としての活用モデル方策の構築—由比、蒲原地区をフィールドとして—』

特定非営利活動法人くらしまち継承機構

【審査委員講評】

◎『静岡市を日本一災害に強い福祉施設のあるまちに』《採択》

しずおか福祉BCM研究会

静岡市内の福祉施設及び避難所等における、災害時のBCP（事業継続計画）の策定状況や、BCPの策定・運用・見直しを含めた管理であるBCM（事業継続マネジメント）の体制整備が十分ではない現状を社会的課題としての確に把握しており、提案事業を実施する必要性を強く感じました。

福祉施設等におけるBCPは、本来各施設の特徴に合わせて施設が主体的に作成するものであり、市の担当各課も細かなサポートが難しいと思われます。確かな活動実績や、それに基づく知識・ノウハウを有する貴団体がサポートに入ることによって、この問題点の解決につながることを期待でき、高く評価しました。分かりやすく、きめ細やかな項目を備えたチェック表の作成や、これを活用した実地指導を市と連携して行うことで施設の災害対策の現状を改善し、ぜひ「日本一災害に強い福祉施設のある静岡市」を実現してください。

◎『住民が自らの暮らしを良くする『小規模多機能自治』の普及推進事業』《採択》

里山暮らしLABO

静岡市が直面する人口減少や高齢化率上昇の現状を客観的なデータ分析に基づいて適切に把握しています。また、確かな活動実績を有しており、着実な事業実施が期待できる点も高く評価しました。

今後、人口減少、高齢化率の上昇に加えて社会的課題やニーズの多様化も地域住民が居住地域の実情及び課題を把握し、自ら考え実際に課題解決に取り組むことが非常に重要になります。貴団体の企画提案である「地域の自慢大会」の開催により、周辺自治会の意識醸成効果を見込むことができ、有効であると考えました。

本事業実施による波及効果は、中山間地域のみならず市内全域に及ぶことが期待できます。ぜひ、今後の発展を見据えながら事業を進めていただきたいと思います。

◎『定時制高校生のための生き抜く力を育む事業』《採択》

特定非営利活動法人しずおか共育ネット

定時制高校に通う学生に関する課題と現状を的確に捉えています。また、市の施策や目標設定をよく理解し、市との協働により課題解決に取り組もうという意図が伝わる企画提案でした。

定時制高校生が抱える生きづらさや悩みを解消するという重要な取り組みに感銘を受けました。また、人手不足という背景の中、未就労者を就労に結び付けるという視点からは経済的効果を見込むこともでき、事業実施の効果は高いと評価しました。

パイロット事業を契機として今後持続的に実施するための資金調達方法、成果指標の設定等をご検討いただき、本格的な事業として大きく躍進していただくことを期待します。

◎『子育てママが中山間地に安心して移住できる「藁科のくらしかた」製作』《採択》
奥わらママ

奥藁科に住むママたちが実生活に基づいて冊子（ガイドブック）を作成するとともに、移住後の受け入れ体制の整備及び移住後のサポートを行う事業は、NPOとしての独自性や先駆性を活かしており、貴団体ならではの事業だと思います。移住促進は市の重点事業に掲げられていることから、事業実施の必要性や意義が大きいと評価しました。また、団体の活動実績から高い実行力が窺え、その点も評価に影響しました。

ガイドブックは紙媒体に限定せず、Web上に公開することや、関連サイトへのリンク付け等により拡散すると地域の魅力発信につながると思います。また、協働パイロット事業に留まらず、今後の継続的な事業実施のビジョン構築についても検討していただきたいと思います。

◎『コミュニティ・カフェ等による空家の交流拠点としての活用モデル方策の構築—由比、蒲原地区をフィールドとして—』《採択》
特定非営利活動法人くらしまち継承機構

空き家の増加が住環境や景観に及ぼす悪影響を社会的課題としての確に把握しており、市が取り組むべき空き家増加抑制に寄与する事業を提案していただきました。

団体のスタッフに専門的知識や技術を有する人材が多く、市が直接取り組むことが難しい空き家の活用の仕組み構築に期待ができるため、協働実施の効果は高いと考えます。また、空き家を活用するためには地域住民の理解や協力が不可欠ですが、今回は団体としての活動基盤がある由比、蒲原地区での空き家活用モデルの構築ということで確実な実施を見込める点も高く評価しました。

今年度の事業実施により空き家活用モデルを構築した後は、他地域での展開が見込まれていますが、活動の基盤がない地域での実施に関しては課題が残るものと思います。今後の展開や継続して実施するための仕組みを検討しながら事業を進めていただければと思います。

【注記】

協働パイロット事業において採択された事業は、協働事業担当課との協議及び継続実施に関する審査を経て、最長2年間の継続実施ができる可能性があります。継続実施を検討する際は、継続することによる効果や、将来的な事業計画を明確にしてください。

- 『一子どもへの権利侵害に対応するための子ども向けガイドブックー（仮称）『大切なあなたに』の作成』 <不採択>

特定非営利活動法人子ども虐待防止センターしずおか

専門的なスタッフの経験と実績に基づき、社会的課題が的確に把握されている点を高く評価しました。また、児童虐待や子どもの権利侵害の防止啓発事業の取り組みとしては、大人に対するアプローチが主流ですが、子どもに対する教育・啓発はまだ先例も少ないため、NPOとしての先駆性が感じられました。

しかし、子どもに向けた冊子の具体的な内容や表現、発行部数から算出する冊子の配布対象について検討の必要があることから、実効性に関する評価が厳しいものとなり、今回は事業採択には至りませんでした。

貴団体が取り組む活動は、社会にとって必要不可欠なものです。市の関係各課との協力関係を構築しながら、今後も継続的に事業に取り組んでいただきたいと思います。

- 『性的マイノリティの居場所づくり事業：LGBTとそうかもしれない人のくじHOUSE』 <不採択>

LGBTしずおか研究会

性的マイノリティ当事者を支援するための居場所づくり事業について、貴団体のこれまでの活動実績や東京都における居場所づくり事業の先例から、需要があることが理解でき、ニーズや社会的課題の把握に関して高く評価しました。

性的マイノリティに対する支援は今日的な課題であり、行政のみならず、学校、医療機関、各相談機関にとっても新しい分野だと思えます。パイロット事業において試験的に取り組む価値は高いと思われそうですが、効果的な手法、成果指標、今後の展望が明確でないことから、現時点においては実効性に関する評価が厳しいものとなり、採択には至りませんでした。

今後、当該分野に関する支援の必要性は高まるものと思えます。活動を通じて更なる実績を積んでいただき、効果的な手法や指標を明確に設定した上で、先駆者として活躍していただきたいと思います。

- 『小学生からシゴトにユメを☆活躍する女性技師のお仕事紹介プロジェクト』 <不採択>

特定非営利活動法人まちなびや

小学生に対して仕事に関する情報やワークショップ、インタビューなどの機会を提供し、社会経験の獲得と職業に対するイメージの構築を図るコードモンデ制作事業は、貴団体ならではの事業であり、他にはないワクワク感や、コンテンツとしての安定性、実効性を感じました。

その反面、今回の企画提案の内容は、従来から取り組まれているコードモンデ制作事業の延長としての色彩が強く、パイロット性に欠けるものと判断したため、今回は採択に至り

ませんでした。

貴団体は、これまでの活動を通じて多くの実績を積んでいるため、事業実施に先立つ資金調達の方法や、成果の測定について工夫、検討していただきたいと考えます。今後も子どもに学びの機会を提供する貴重な活動を継続しつつ、更なる発展を遂げていただくことを期待しています。

●『自治会の担い手を増やすには…その前に、「そもそも自治会って何しているの?』』<不採択>

特定非営利活動法人静岡団塊創業塾

自治会・町内会の担い手不足という社会的課題について、その現状及び原因を分析し、課題解決のための事業を提案していただきました。

自治会・町内会の実態や仕事の内容、ルールなどを紹介する冊子は既存のものがなく、先駆的と言えますが、各自治会・町内会の実態に即して内容を調整する必要があり、統一的内容のものを作成することが難しく、今後の課題となると思われます。また、今回の企画提案は「まず、知ってもらうこと」に焦点を当てた企画だということが十分伝わりましたが、その後の展望や手法にもう一つ工夫が必要であると感じました。

今回は事業採択に至りませんでした。自治会・町内会機能の弱体化が懸念される中で、その解決に取り組まれる貴団体の活動には行政からも大きな期待が寄せられます。地域デザインカレッジで学んだ成果を活かす取組を今後も継続していただければと思います。

<書類審査>

●『赤ちゃん先生プロジェクト』<不採択>

ママの働き方応援隊静岡校

子育て世代のママの行動が制限されることによる人との関わりの疎遠化を「弧育て」と表現し、社会的課題としての的確に把握していると感じました。

すでに事業プログラムが確立されており、事業としての実行力の高さは認められますが、今回の企画が提案された時点では実施対象校が確約されていなかったため、確実な事業実施に課題があると感じました。また、事業実施にかかる費用と時間等の関係で、学校における本格的な実施は容易ではなく、その点も評価に影響しました。

今回は事業採択に至りませんでした。子育て期間中のママにとっては社会進出の機会となり、希望のある学校にとっては他にない貴重なカリキュラムとなります。今後も継続的に活動に取り組まれることを期待します。

●『Short movie contest at Shizuoka City park 公園からはじまる静岡市市民映像コンテスト』

<不採択>

特定非営利活動法人音楽の架け橋メセナ静岡

静岡市内の公園の魅力を発信し、利活用を進めるという課題テーマに即した事業を提案していただきました。公園を舞台としたショートフィルムの撮影と、市民が主体的に参加できるコンテストの開催により公園の魅力を発信するという発想にNPOの独創性が発揮されており、非常に面白いアプローチ方法だと感じました。

しかし、市民からどれほどの応募があるか不明であり、また、コンテストの開催に当たっては多額の予算が必要となるため、実効性や今後の継続性について難点があると判断しました。

今回は採択に至りませんでした。このアイデアが実現し、市民からショートムービーが多数応募されるようになれば、市内の公園のPR活動に効果的だと考えます。コンテストの内容や運営方法をさらに検討し、ぜひ実現していただきたいと思います。

●『多世代交流スペース着物体験ベースきものかふえ』<不採択>

和装教育国民推進会議静岡県支部

空き家の有効な活用方法として、着物体験ができるコミュニティスペースの構築事業を提案していただきました。多世代間交流や、異文化交流のツールとして着物の活用に着目する発想はユニークであり、専門的な知識やノウハウを持つNPOの強みが活かせるアイデアでした。コミュニティスペースの構築や、日本の伝統文化の伝承にとって大変効果的だと考えます。

一方、市が解決すべき社会的課題である空き家の増加を抑制するという点に着目した場

合、本事業がもたらす効果は必ずしも高くはないと感じました。また、市内の空き家に関する現状や課題を踏まえた継続的な手法の考察に欠けていると判断しました。

今年度の協働パイロット事業としては採択に至りませんでした。他市における着物を活用したまちづくりの先例があることから、ニーズや実現の可能性を感じられます。先進事例を踏まえた成功例・失敗例から本市における活用方法を再検討し、提案していただければと思います。

●『井川活性化プロジェクト』<不採択>

特定非営利活動法人静岡山の文化交流センター

井川地域の人口減少を重大な社会的課題と捉え、地域の振興を目指す事業を提案していただきました。企画提案書にある「井川委員会」のメンバーとして専門的な知識やノウハウを有する人材が揃っており、本委員会を常設することにより、長期的・継続的に井川の活性化に取り組んでいただくことで、非常に高い効果を見込むことができるのではないかと思います。

しかし、事業の具体的な内容や手法が明確に示されていない点が残念に思いました。また、見積額の算出根拠も明確にされておらず、その点も評価に影響しました。

井川に限らず、中山間地域の人口減少対策や地域振興策は市が重点を置いて取り組むべき課題であり、これに寄与する事業の提案は素晴らしいと思います。今回は採択に至りませんでした。NPOとしての活動を継続していただき、中山間地域の活性化に取り組んでいただくことを期待します。